クラブだより

たくさんのイベントで楽しいクラブ

灘区
灘南部和光会
小谷　辰次

私たちのクラブはＪＲ摩耶駅の南側周辺に位置し、会員数は113名で元気な方が多く楽しいクラブです。

毎週水曜日と金曜日の午前8時半過ぎになると、公園の木陰に30～40名の方が集まってきて、音楽が流れると太極拳が始まります。次にストレッチの先生が6分ほど指導してくださり、続いて元気にラジオ体操をします。

終わるとグラウンドゴルフをする方や、福祉センターに立ち寄り、おしゃべりを楽しむ方も多くあります。

火曜日にはカラオケや健康マージャン、水曜日は囲碁・将棋でにぎやかです。

和光会では「西灘ふれあいのまちづくり協議会」に協力し、月1回「わいわい喫茶」を行い大変好評です。コーヒーおかわりＯＫ。サンドイッチ・サラダ・デザートのメニューをスタッフ8名で2時間余りの間に約50名近くの方の参加があり、毎回大満足のようです。

地域のクリーン作戦も年2回行います。毎回多くの方の協力に感謝しています。

「えんがわサロン」は毎月第2月曜日に映画・健康講座・輪投げ・ダーツ・モルック・吹き矢・ボッチャなどを計画し、多数の方の参加があり、ワイワイ楽しんでいます。

今年度も6月には第63回灘南部和光会「通常総会」を開催しました。多くの会員の参加をいただき盛大に終わりました。

和光会最大のイベントは10月に「敬老祝賀会」を行い、食事と余興で毎年盛り上がります。

恵まれた人と環境に感謝！
～須磨寿楽会創立65周年に思う～

須磨区
須磨寿楽会
紀田　勇夫

須磨寿楽会は今年65周年を迎えました。多数の先輩方に感謝と敬意を捧げ会員の皆さんと共に祝いたいと思います。会員数は128名と中規模ながら、須磨区では最古参になるそうです。今年は幸先よく、2月開催の須磨区老連主催の室内運動会に優勝する快挙に恵まれて65周年に花を添えてくれました。輪投げチームや出場選手に拍手。

この65周年を記念していくつかの事業を予定しました。直近の行事では阪神・淡路大震災30年を機会に「人と防災未来センター」を見学しました。6月17日（火）、梅雨空を心配しながら（実際は30度を超える猛暑）一行28名の参加者は、ボランティアさんの説明に人命が失われるなど甚大な被害をもたらした当時を昨日のように思い出しました。展示資料や映像などを通じて参加者は災害に対する知識を得たような気がしました。

当会の現況を報告いたします。会員数は昨年に引き続き増加しました。病気などのため多数退会されましたが、それを上回る方が入会されました。超高齢化により退会者が多い中、遠方からも入会され本当にありがたいと思います。

活動拠点の板宿地域福祉センターは高取山麓近くに位置し、少し不便ながら緑豊かで静寂。利用者は自治会や子ども会の活動があるもののほとんど土、日に集中します。従って平日は須磨寿楽会の独占場になり、当会の各クラブは月曜日から金曜日までほぼ確実に活動日が確保されます。多くのクラブでは休憩時間帯（ティータイム）を設け、雑談を交えながら本当に楽しく活動しています。

昨年度からスポーツ吹き矢クラブがスタートしてヨガ体操と共に多数の部員が活動しています。2台の卓球台、健康麻雀卓3卓を各クラブで所有して会員以外の方にも開放しています。

輪投げ・将棋部も毎月3回にぎやかに活動しています。また最多部員のカラオケクラブ（35名）は週3回、プロジェクター、スクリーンでの大画面で自慢の声を聴かせてくれます。

須磨寿楽会は活発なサークル活動をはじめ多くの主催行事を開催。また、地域の事業に協力、参加し、健康維持とフレイル予防に努めていきます。

北鈴若葉会 創立50周年を迎えて

北区
北鈴若葉会
頼安　孝正

北鈴若葉会は去る3月15日（土）、会員73名の内56名と来賓4名の方のご出席をいただき創立50周年の式典を行いました。15代目となる現会長野村雅文より「区切りの50年を会長として迎えられたことに感謝し、これからも会員の高齢化が進むなかで同好会の充実を図り会員を増やしていきたい」と力強く語りました。

北鈴若葉会が誕生した当時を振り返りますと、昭和45年4月に北鈴蘭台駅が開業し北鈴蘭台自治会、中学校、小学校が相次いで開校、昭和48年4月には北区が誕生。そして昭和50年3月25日に北鈴若葉会の有志で北鈴若葉会を結成する運びとなりました。

式典では北区老連の久保会長より「50周年の祝辞とともに北区老連も昨年50周年を迎えたこと、また、現在クラブ数、会員数の減少が続くなか、リーダー育成の講習会の開催や会員増クラブの施策を参考にした取り組みを進められたい」との助言をいただきました。引き続きご来賓の民児協、自治会、ふれまち協議会の各代表からもご祝辞と、「これからも北鈴若葉会との絆を深めコミュニケーションをとり抱える問題を共有し、共に取り組んでいきましょう」と仰っていただきました。

続いて50周年実行委員の紹介、そしてリーダーシップを発揮して地域の交流と発展に尽力された歴代会長へ感謝状を贈呈し一言を頂戴しました。

またいつも元気をくださる90歳以上の長寿者15名には「いきいき元気賞」を贈呈。そして男性、女性の各代表者に入会当時をふり返り、その思い出話に全員耳を傾けました。

そして式典のメインイベント日本舞踊に移り、若柳流の若柳寿三美先生から祝舞「万歳」をご披露していただき式典が盛り上がりました。

最後に北鈴若葉会がこれからも地域の交流と会員相互の親睦を深め、ますます発展していくことを願い式典を終了しました。